

20 歳 未 満 の 死 因 順位別死因及び死亡率・割合（平成29年）

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	
0歳	愛知県	先天性奇形、変形及び染色体異常 31 (49.7) <31.6>	周産期に発生した病態 28 (44.8) <28.6>	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害 15 (24.0) <15.3>	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害 6 (9.6) <6.1>	乳幼児突然死症候群 6 (9.6) <6.1>	心疾患 5 (8.0) <5.1>
	全国	先天性奇形、変形及び染色体異常 635 (67.1) <36.1>	周産期に発生した病態 468 (49.5) <26.6>	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害 236 (24.9) <13.4>	不慮の事故 77 (8.1) <4.4>		乳幼児突然死症候群 69 (7.3) <3.9>
1～4歳	愛知県	先天性奇形、変形及び染色体異常 9 (3.5) <20.5>	悪性新生物<腫瘍> 6 (2.3) <13.6>	不慮の事故 3 (1.2) <6.8>	心疾患 2 (0.77) <4.5>	乳幼児突然死症候群 2 (0.77) <4.5>	/
	全国	先天性奇形、変形及び染色体異常 178 (4.6) <25.7>	不慮の事故 70 (1.8) <10.1>	悪性新生物<腫瘍> 60 (1.5) <8.7>	心疾患 33 (0.8) <4.8>		肺炎 24 (0.6) <3.5>
5～9歳	愛知県	悪性新生物<腫瘍> 8 (2.3) <28.6>	先天性奇形、変形及び染色体異常 5 (1.5) <17.9>	不慮の事故 3 (0.9) <10.7>	/		/
	全国	悪性新生物<腫瘍> 75 (1.4) <21.4>	不慮の事故 60 (1.2) <17.1>	先天奇形、変形及び染色体異常 51 (1.0) <14.5>	心疾患 16 (0.3) <4.6>		その他の新生物<腫瘍> 12 (0.2) <3.4>
10～14歳	愛知県	悪性新生物<腫瘍> 6 (1.7) <24.0>	自殺 4 (1.2) <16.0>	心疾患 2 (0.6) <8.0>	先天性奇形、変形及び染色体異常 2 (0.6) <8.0>	/	
	全国	自殺 100 (1.9) <22.9>	悪性新生物<腫瘍> 99 (1.8) <22.7>	不慮の事故 51 (0.9) <11.7>		先天奇形、変形及び染色体異常 37 (0.7) <8.5>	心疾患 20 (0.4) <4.6>
15～19歳	愛知県	自殺 32 (8.5) <45.7>	不慮の事故 13 (3.5) <18.6>	悪性新生物<腫瘍> 9 (2.4) <12.9>	先天奇形、変形及び染色体異常 3 (0.8) <4.3>		/
	全国	自殺 460 (7.8) <39.6>	不慮の事故 232 (3.9) <20.0>	悪性新生物<腫瘍> 125 (2.1) <10.8>	心疾患 61 (1.0) <5.3>		先天奇形、変形及び染色体異常 23 (0.4) <2.0>

注 1) 死因順位の選び方については、人口動態統計で使用されている「死因順位に用いる分類項目」及び「乳児死因順位に用いる分類項目」を使用した。

2) ()は各年齢階級人口10万対の率、ただし0歳は出生10万対の率

3) < >は百分率（それぞれの年齢階級死亡数を100とした場合の割合）

4) 愛知県は名古屋市、中核市を含む。

5) 数値は、人口動態統計(平成29年)